

し え ん ぶ 支援部だより

第4号

令和6年11月19日
東京都立水元特別支援学校長
村上 卓郎
担当：支援部

がっこうしょうかいし ～学校紹介誌「なかま」～



ちいき 地域の方々に本校をより広く知っていただくために、がっこうしょうかいし 学校紹介誌「なかま」を発行しています。

がくしゅう 学習 や行事、さまざま とく 様々な取り組みなどをしょうかい 紹介しています。

さまざま し え ん ぶ と く 【様々な支援部の取り組みについて】

ようじきょうしつ ～幼児教室「わくわくアイリスクラブ」～



こども 子供の成長について相談したい保護者のサポートを行うために、葛飾区・足立区に在住して
いる就学前の5～6歳児のお子さんたちを対象に幼児教室を開いています。

こども 子供が教員と一緒に遊び活動する場、保護者にとっては「悩みや思いを相談できる場」「特別
支援学校を知る場」となっています。

今年度のわくわくアイリスクラブは、年間6回を3回ずつに分け、それぞれ10名ずつの幼児が
参加しました。今回は、11月7日(木)に行われた今年度最後のわくわくアイリスクラブの様子

を紹介致します。



～好きなことはなにか？～
トランポリンなどの室内遊具や絵本よみ、
お絵かきなどの中から好きなことを見つけて、
一緒に活動しました！



～あつまりのかい～

教員と一緒に自己紹介(名前よび)をして、
くすぐり遊びや手遊び、パネルシアターなど
を行いました。



東京都立水元特別支援学校 学校紹介誌 第2号
令和6年11月発行
東京都立水元特別支援学校

なかま

みなさん、こんにちは！水元特別支援学校です。
今回は、「副籍交流」についてお話しします。

「副籍交流」ってなにか？

同じ地域に住むみなさんと、「学校生活で交流して友達になること」を「副籍交流」といいます。

どんなことをするの？

①おたより交換
学校や学年のおたよりを交換しています。自己紹介カードや手紙で、好きなことや得意なこと、水元特別支援学校での勉強のようすを紹介することもあります。展覧会に作品を出品して交流している友達もいます。

『いつも おたよりをありがとう』

みなさんの学校からいただいた学校だよりは、ろう下に貼って、多くの人に読んでもらっています。行事の招待状やクラスの友達からのメッセージなど、うれしいおたよりが届くこともあります。

②いっしょに楽しく！

「副籍交流」では、催りの会や学年のお楽しみ会に行ったり、運動会や音楽会に参加したりと、いろいろな授業や行事で交流をしています。はじめて友達・先生に会うときや、教室に入るときは、緊張しますが、でも、いっしょに過ごすうちに、少しずつ仲良くなって、安心して楽しい時間を過ごせるようになります。

言葉かけるときは、やさしく伝えてください。身ぶりをつけたり、写真や絵を使ったりするとわかりやすいです。失敗や少し大きな声を出してしまうことがあるかもしれませんが、その時に「ちくちくことば」が聞こえると、とても悲しいです。でも、「ふわふわことば」が聞こえたら、とても嬉しくて、頑張ろう！と思えます。みんなの言葉を「ふわふわことば」で楽しく交流しましょう。

さいしよはドキドキ…

ちくちくことば
へんなの
こんなことも
きかないの
バカみたい

ふわふわことば
がんばったね！
かっこいいね！
だいじょうぶだよ！
いっしょにがんばろう！

副籍交流をしている友達と、学校の行きかえりや、買い物をしているときに、会うことがあるかもしれませんね。そんな時は、気軽にあいさつしたり、声をかけたりしてください！

『ポニー学習の風景』

水元スポーツセンター公園内にある「ポニースクールかつか」でのポニー学習の風景です。乗馬体験や餌やり体験での交流を通して、運動技術や協調性を身に付けます。学習の一環として馬との関わりを定期的に行っている学校は全国でも他に例がないそうです。

～スクールソーシャルワーカー「SSW」～

がっこう 学校での困りごとを抱えている子供と家族を支えるための専門職が、スクールソーシャルワーカーです。社会福祉士、精神保健福祉士、家族相談士などの専門的な立場からのご意見を頂きながら、ご家庭や学校での困り感に対して、子供にどのように働きかけを行うか、今後どのような支援が必要なのかを一緒に考えています。なかなか学校に来られない時には、教員と協力しながら家庭訪問を行うこともあります。

また、学校外の様々な保健・医療・福祉のサービスをうまく利用できるようにお手伝いしたり、関係機関と一緒に考えたりするといった連携・調整も行います。